

〔総務部 納税課 所管〕

02020207 市税滞納整理事務

決算書P. 135

【財源内訳】 (単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	14,973	11,059	△ 3,914	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	14,973	11,059	△ 3,914	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

納税することができる納税者からは必ず税を徴収し、納税の公平性を保つとともに、滞納額を縮減し収納率を向上させる。

【今年度の取組】

財産調査や所得調査後、納税相談を実施することにより生活状況等を見極め、滞納額が増加しないように分割納付の額の見直しや執行停止処分を行った。

差押件数 275件
給与等の資産調査 525件
預金調査 4,387件

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
市税滞納件数のうち収納できた件数	件	6,586	7,660	7,208	7,500
滞納額に対する収納率	%	33.70	41.10	48.00	49.00

【成果の動向】

財産調査や所得調査後、納税相談を実施し、滞納処分を実施することにより収納率が向上している。

【今後の事業の方向性】

十分な財産調査実施後、迅速に滞納処分を行い、継続債権の差押件数を増やすことにより、収納率の向上を図る。